

10月15日(土)



おおたけきよみ

大竹聖美さん (東京純心大学教授・韓国絵本翻訳家)

1969年、埼玉県生まれ。東京純心大学こども文化学科教授。日韓文化交流基金訪韓フェローおよび大韓民国政府招聘留学生として6年間韓国で学ぶ。博士(教育学・韓国延世大学校)。2004年に帰国してからは韓国児童文学・絵本の研究と翻訳をしている。訳書に『とらとほしがき』『ママは100めんそう』(いずれも光村教育図書)、『非武装地帯に春がくると』(童心社)、『チェックおばあちゃんがくれたたいせつなつみ』(福音館書店)など多数。埼玉県在住。



パク・ジヒ 文・絵、おおたけきよみ 訳
『ぼくが見える?』
(光村教育図書 2021年)

11月12日(土)



はまだけいこ

浜田桂子さん (絵本作家・画家)

1947年、埼玉県生まれ。『あやちゃんのうまれたひ』(福音館書店)でデビュー。著書に『てとてとてとて』(福音館書店)、『ぼくのかわいくないもうと』(ポプラ社)、『どうしよう』(理論社)など多数。日本・中国・韓国12名の作家と連帯し平和絵本シリーズを企画。『へいわってどんなこと?』を3国共同刊行(日本は童心社)。国内外の子どもたちと命と平和を考えるワークショップを行う。日本児童出版美術家連盟、日本ペンクラブ、日本文藝家協会会員。



浜田桂子 作
『へいわって どんなこと?』
(童心社 2011年)

ギャラリートークとワークショップ(入館料のみでご参加いただけます)

期間中、講演会のない日には、「絵本でコリアを知る会」のメンバーが自分の担当したパネルに関するギャラリートークをしたり、紙芝居、カルタ、ウンノリ(朝鮮のすごろく)、チマチョゴリの折り紙づくりなど楽しいワークショップをします。どうぞお楽しみに！

在日連続講座

9月17日(土) 14:00~16:00

高麗博物館では、2005年以来、様々な分野で地道に活躍されている在日コリアンの方々をお招きして毎年「在日連続講座」を開催しています。

キムサンギョン

金尚均さん (龍谷大学法学部教授)

「ハイトスピーチとハイトクライム——両者の連関——

—京都朝鮮第一初級学校襲撃事件からウトロ放火事件まで激化するハイト—」

金尚均さんプロフィール

1967年 大阪生まれ

1990年 立命館大学法学部卒業

1994年 ボン大学並び立命館大学大学院博士後期課程中退

現職：龍谷大学法学部教授(専門：刑法)

主な著書

『差別表現の法的研究』、『ヘイト・スピーチの法的研究』

『危険社会と刑法』、『ドラッグの刑事規制』、『刑罰論と刑罰正義』

オンライン・会場とも参加費 1000円 お申込はホームページ・お電話で

市民がつくる日本コリア交流の歴史博物館



高麗博物館

고려박물관 KOREA MUSEUM

〒169-0072

東京都新宿区大久保1-12-1

第2韓国広場ビル7階

TEL: 03-5272-3510

FAX: 03-3207-0533

E-mail: kh@kouraihakubutsukan.org

https://kouraihakubutsukan.org/

開館時間：12:00~17:00

休館日：月曜日・火曜日

入館料：一般 400円・中高生 200円



※ビルの1階はファミリーマートです